

三次市では、1994年以降、米軍機によるとみられる低空飛行訓練により地域住民は、日々爆音や事故等の不安に悩まされている。

このため、市民の不安解消と安全確保の見地から、広島県を通じ、外務省及び防衛省に対し、訓練中止の措置を繰り返し要請してきた。

しかし、9月27日にも三次市作木町において正午前頃、米軍機と思われる機体の低空飛行を目撃したとの通報を学校関係者から受けた。

本件について同日に上空を米軍機が通過した事実を確認した。

昨年12月20日にも、同町の上空をパイロットが確認できるほどの超低空飛行が行われ、本市として低空飛行の訓練を中止するよう抗議したところである。

今回も、三次市立作木小学校・中学校の上空付近を低空で飛行し、小学校では校庭で授業中の児童に多大な恐怖をあたえている。

日米合同委員会の合意において、住民に与える影響を最小限とし、妥当な考慮を払うとされる学校施設において、このような低空飛行が行われたことは、妥当な考慮を払っているとは到底認められず、極めて遺憾である。

大使閣下におかれましては、日々繰り返される米軍機の低空飛行訓練によって激しい騒音被害や事故発生の危険性の増大など市民の平穏な生活が乱されているという現実を改めて認識の上、低空飛行訓練の中止、米軍機の安全管理の徹底について適切な措置を講じられるよう強く要請する。

2012年10月15日

アメリカ合衆国  
駐日本国特命全権大使 ジョン・V・ルース 閣下

日本国 広島県三次市長 増田和俊

三次市では、1994年以降、米軍機によるとみられる低空飛行訓練により地域住民は、日々爆音や事故等の不安に悩まされている。

このため、市民の不安解消と安全確保の見地から、広島県を通じ、外務省及び防衛省に対し、訓練中止の措置を繰り返し要請してきた。

しかし、9月27日にも三次市作木町において正午前頃、米軍機と思われる機体の低空飛行を目撃したとの通報を学校関係者から受けた。

本件について同日に上空を米軍機が通過した事実を確認した。

昨年12月20日にも、同町の上空をパイロットが確認できるほどの超低空飛行が行われ、本市として低空飛行の訓練を中止するよう抗議したところである。

今回も、三次市立作木小学校・中学校の上空付近を低空で飛行し、小学校では校庭で授業中の児童に多大な恐怖をあたえている。

日米合同委員会の合意において、住民に与える影響を最小限とし、妥当な考慮を払うとされる学校施設において、このような低空飛行が行われたことは、妥当な考慮を払っているとは到底認められず、極めて遺憾である。

司令官におかれましては、日々繰り返される米軍機の低空飛行訓練によって激しい騒音被害や事故発生の危険性の増大など市民の平穏な生活が乱されているという現実を改めて認識の上、低空飛行訓練の中止、米軍機の安全管理の徹底について適切な措置を講じられるよう強く要請する。

2012年10月15日

米海兵隊

岩国航空基地司令官 ジェームズ・C・スチュワート大佐 様

日本国 広島県三次市長 増田和俊